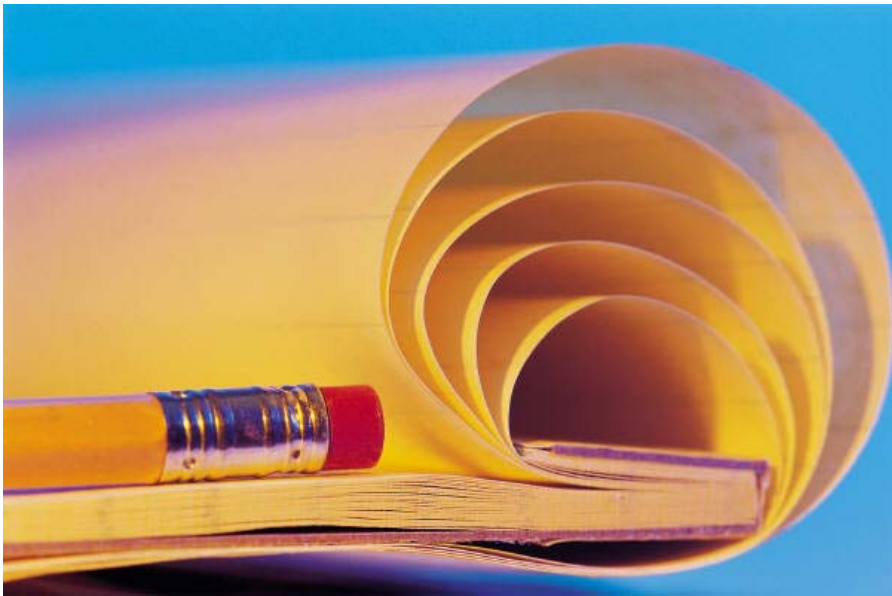


2019

中学受験案内

■全学年■



すべての生徒に情熱指導

教育指導研究会

〒277-0832 千葉県柏市北柏 3-1-1 昭信ビル 2号館 4F・5F (受付 4F)
<http://kyouken.net> mail: info@kyouken.net



受付専用 **0120-66-5413**

受付時間 平日 10:00~20:00
土日 13:00~20:00



小6生 ～受験学年～

1. 教研の中学受験指導

教研の中学受験指導は1対1の個人指導が基本です。

なぜ個人指導が必要なのか・・・

なぜ個人指導だと結果を出せるのか・・・

是非、ご一読ください。

責任を持って指導するために

■指導が行き届く範囲でお預かりしています

当会は責任をもって指導できる数の生徒しかお預かりいたしません。

現在、中学受験を真剣に考える御父母からの問い合わせが増えているため、授業時間割の調整に時間がかかっている状態です。場合によっては、すべての授業をお受けできない場合もあります。

しかし、指導する以上は責任をもって、全力で指導いたします。

■担当と面接があります

責任をもってお預かりする以上、ご家庭の方針・お子様の様子・志望校・現在の成績を確認させていただきます。

入会を希望される場合は、お電話でご確認ください。担当との面接日程を決定いたします。尚、面談時には偏差値がわかるテスト結果を持参ください。

■指導について

当会の中学受験の指導者は、偏差値が第一志望に遠く及ばない生徒を合格させるプロの指導です。お気軽にご相談ください。

《上記実績例》 入会時の首都圏模試当時偏差値(記載なしは当会のみ指導) ⇒ (進学先)

2008年卒・・・ ●ss50⇒市川 (ss66)

2009年卒・・・ ●ss42⇒茗溪 (ss54) ●ss48⇒大妻中野 (ss54)

2010年卒・・・ ●ss57⇒市川 (ss66) ●ss46⇒茗溪 (ss54)

2011年卒・・・ ●ss46⇒国府台女子 (ss60) ●ss48⇒麗澤 (ss57)

2012年卒・・・ ●ss48⇒江戸川取手 (ss62) ●ss36⇒日本大学第一 (ss50)

2013年卒・・・ ●ss37⇒麗澤 (ss57)

2014年卒・・・ ●早稲田 (ss70) 市川 (ss66) 江戸取 (ss62)

2015年卒・・・ ●芝浦柏 (ss60)

2016年卒・・・ ●ss50⇒茗溪 (ss54) ●ss64⇒東葛 (ss70) ●ss61⇒東邦大東邦 (ss70)

2017年卒・・・ ●恵泉女子 (ss62) ●麗澤 (ss58)

2018年卒・・・ ●ss52⇒江戸川取手 (ss64) 順天 (ss58)

2019年卒・・・ ●ss49⇒茗溪 (ss54)

▽その他の合格実績は別冊をご覧ください。

2. 頼りになるプロの指導

受かる人は自分専属の指導者がいます。受かるにはそれなりの理由があります。

受験を突破するためには『自分専属の指導者』が必要

受験で大切なことは、自分にあった指導を受けることです。

『偏差値は目安に過ぎず、過去問が解ければ合格する。つまり、「過去問をいかに分析し対策をするか」が合格の鍵を握っている。』

これが私たちの考え方で、この指導で、偏差値より 10 以上高い学校に合格させてきました。

人はそれを、「奇跡」とか「サプライズ」と言いますが、正しい対策をすれば、合格最低点を超えることもあります。私たちは綿密なプランを立ててこれを実践してきました。決して「奇跡」「サプライズ」ではありません。

十分な『過去問対策』をしている塾は少ない？

大手受験指導塾でも「過去問対策」は行っています。しかし、その内容は、「解いた過去問の採点・コメント・質問対応」くらいようです。解答用紙に細かくコメントを書いてくれる先生もいらっしゃるようですが、残念ながら、「そのコメントだけ」では過去問の対策としては不十分です。過去問対策とはただの「添削指導」ではありません。

教研が行う「過去問対策」とは、「個々の学力と性格を踏まえ、合格点に達するために解くべき問題を明確に指示し、得点させること」です。

「この学校の過去問で合格点に達するためには、どのような力をつければよいか」と合格への道のを逆算した指導です。

この指導は「生徒 1 人に対して先生 1 人の個人指導」で対応しています。

教研が実施する過去問対策

- ・ 志望校の過去の問題をすべて分析する
- ・ 過去問と生徒の学力を比べ、補うべき内容を分析し、得点すべき問題を明確にする
- ・ テスト中の集中力の具合を見極める
～受験は四教科、最後の教科まで集中力を持続させるのは容易なことではありません。受験生の多くは四教科目の試験では、かなり集中力が落ちています。～
- ・ なぜケアレスミスをするのかをしっかりと分析して対策する

12歳の生徒にとって、「受験」というプレッシャーは大きな負担です。自分では落ち着いているつもりでも実は緊張しており、それがケアレスミスにつながる場合があります。寝不足も大きく影響します。中学生や高校生では考えられない状況に陥るのが、中学受験の特徴です。

3. こんな指導をしています

指導の様子を詳しく知りたい方へ……。

勉強すればするほど「合格ライン」に届かなくなる……？

学校の出題形式を徹底的に分析し、配点まで考慮した解法指導を行います。

例えば、近年偏差値を上げている渋谷幕張の理科の入試問題は平成19年に大きな変化がありました。多くの生徒は「今年の理科は難しい」と感じたかもしれませんが、そうではありません。

難しい問題と易しい問題の差がはっきりしただけです。数量処理の問題をうまく取捨選択できれば十分に合格ラインに届くことはできます。

「学力をつけること」ばかりに気をとられずに、「得点力をつけること」にも目を向けることが重要です。『難しい問題を丁寧に解説する指導』が、かえって「混乱」と「自信喪失」をまねき、合格ラインに届かなくなってしまうこともあります。その生徒に合った的確な指導をしてはじめて、過去問分析の意味があるのです。

■過去問の量は莫大

一人あたりの平均受験校は 5 校ほどと言われています。すべての過去問を行う場合、4 教科あるので過去 5 年分の対策をすると、5 校で、

4 教科×5 年×5 校=100 教科分！！

すごい量です。さらに、受験が 2 回行われている学校も多く、その問題数は倍々と増えていきます。

■過去問はいつから始めればよいのか

全カリキュラムが終了した 8 月～9 月頃が理想です。「9 月に入試問題はまだ早い」という声があるかもしれませんが。しかし、その生徒にあったレベルの入試問題からはじめることは可能です。「入試問題は簡単に得点できない」「問題集や模擬テストの問題とはまったく違う」等々を実感させます。

そして、生徒達は、「入試問題が解ければ、偏差値に関係なく合格できる」ことを知るようになります。

■過去問対策の重要性はみんなが知っている

「過去問対策をすれば合格率が上がる」ということは、受験専門家であれば誰もが知っています。最近では大手受験指導塾でも、過去問を解かせ、それを採点・寸評する指導をしているようです。

しかし、過去問対策とは、もっと深くまで行うことです。「合格点に達するためには、何をすればよいか」を的確に指導しなければ、過去問対策とは言えません。

■メンタルケアも重要 ～落ちてからが本番だと思え～

受験期間は 1 月上旬から 2 月 5 日頃まで約一ヶ月近くあり、その期間、予定通りに合格するとは限りません。

「不合格」という結果には、親も子も落ち込みますが、大事なことは、「気持ちを切り替え、その後の受験に備えること」です。たとえば、不合格が続くと、受験校を増やしていく御父母がいらっしゃいます（たいがい偏差値の低い学校を選ぶのですが・・・）。過去問対策もせず、気持ちの準備もできていない状態で受験校を増やしても、生徒の負担を増やすだけです。

また、そのような焦った対応が生徒を余計に不安にさせ、おまけに、もし追加した学校も不合格になってしまったら・・・。火に油を注いだ状態になってしまいます。場合にもよりますが、私たちは、不合格が続いた時こそ、その分析をし、第一志望をしっかりと見据えた指導を行います。

■何よりもお子さまのため、そして、お父さま・お母さまのためです

中学受験は、一般にお父さま、お母さまが「主導権」を握っています。そのため、お父さま、お母さまにかかる負担は少なくありません。ご自身の選択が正しいか、また、今何をすべきか・・・等。

私たちは、不安と戦うお父さま、お母さまを全面的にバックアップいたします。

小5-4生

大手受験進学塾に通う意味

大手受験進学塾に通わなければ、受験ができないと思っていませんか？

以前は、『中学受験をするなら大手受験進学塾に通わなければいけない』と言われていましたが、現在では、必ずしも通う必要がないと考えられるようになっていきます。

一番の理由は、大手受験進学塾のハードなカリキュラムを消化するために、多くの犠牲を払わなければいけないことに負担を感じる受験生・御父母が増えたこと、第二に、そこまでハードな勉強をしなくても、合格できることに受験生・御父母が気づいたことが挙げられます。

することが多すぎる大手受験指導塾

中学受験で成功を収めるためには「家庭学習」はとても重要です。大手受験指導塾では、「家庭学習をしっかりすること」が前提でカリキュラムが組まれています。

簡単に言うと「家で勉強しないと、ついていけない」ということです。

しかし、その量は莫大で、小学生が短時間に解ける量ではありません。残念ながら、一般に大手受験指導塾ではこの「家庭学習」の指導までは行われなため、成績が上がらないのは、「家庭学習が足りないから」という理屈になるのです。

さらに毎週のようにテストが実施されるため、客観的に偏差値を突きつけられ、自信を失ってしまうのです。

「算数は嫌いではないけど、いつもテストの結果が悪いから苦手意識がある」という悪循環に苦しんでいる生徒は多くいるはずです。成績向上のきっかけすらつくれず自信だけを失っていく生徒が数多くでています。

こんな時こそ、生徒個々に合わせた学習修正が必要なのです。

与えられた課題の全てが解ける必要はありません。「今」結果が出なくても、必要なことのみを優先して学習すれば、必ず成績は向上します。時期がくれば自然に解答できるようになることは多くあります。

大手受験指導塾に通いながら個人的にフォロー（個人指導）を受けることが常識化している裏には、このような理由があるのです。

「どこの受験指導塾に通うか」ということよりも、「どんな先生に個人指導をうけるか」の方が、はるかに重要な鍵を握っています。

小学校の勉強を仕上げから、受験体制をとるという考え方

小5までに小学校の範囲をすべて終了させます。余裕があれば、少しずつ受験用の特殊算を導入することもできます。そして、受験をするかどうかは小6で決定してください。もし受験をしなくても、小学校の範囲を早く終了させることは決して無駄にはなりません。

適正を見ながら受験体制をとっていくという、教研の新しい提案です。

最近『受験予備軍』の方が増えています。「本格的に受験勉強をしようかどうか迷っている」または、「本格的な受験勉強をしなくても合格できる学校を目指している」という人たちです。

一見すると中途半端に聞こえるかもしれませんが、このような受験希望者は近年急増しています。そして、私たちはこのような要望に応えています。

あくまでも公立小学校の学習内容をきちんと理解させてから徐々にステップアップする方法です。

「まだ小学生だから・・・、勉強、勉強の毎日にはさせたくない。だけど、受験もちょっと気になる・・・」

こんな御父母の気持ちを、私たちはとてもよく理解しています。

詳細はお問合せください。

※生徒自身の力にもよりますが、首都圏模試の偏差値 62～63（江戸川取手レベル）までと位置づけています。早い時期からの準備は必要ですが（小5の始めくらい）、あくまでも公立小学校の学習内容をきちんと理解させてから徐々にステップアップする方法なので、負担は大きくはありません。

講座の種類

中学受験生は、「個人指導・navi・学校別対策講座」を組み合わせ、授業プランを作成しています。

■小学個人 - 受験 [先生一人] : [生徒一人]の完全個人指導

すべての教科（国語・算数・社会・理科）に対応します。授業と問題演習を組み合わせ、授業形態です。

■小学 navi - 読解 8人までの個別形式授業

国語の文章読解（ただし基本問題）に対応します。入試問題及びそれに準ずる問題を扱う場合は個人指導で対応します。

■小学 navi 8人までの個別形式授業

理科・社会の問題演習、算数の計算練習・小問演習、国語の漢字・語句・ことわざ等に対応します。特に理科・社会に関しては、その効果を発揮しています。

■学校別対策講座 9月以降開講予定

学校別に過去問を分析し、生徒の苦手分野を見つけ、弱点を徹底的に補充していく講座です。「市川中対策」「茗溪中対策」「国府台女子対策」等を行っております。他校の対策を希望される場合はお問合せください。なお、基本的に授業は時間に余裕のある日曜日に行います。

その他

会員のための web サービス

ログインしてマイページから情報を！

すべての授業について、担当がコメントを入力しています。授業の様子を知ってください。

(1) ログイン方法（会員番号とパスワードの発行）

入会手続きが完了すると会員番号とパスワードが発行されます。

(2) パソコンからログイン

①www.kyouken.net にアクセス



② ID（会員番号）・パスワード入力

→ログイン

③サービス開始

(3) サービス内容

- 会員向けのお知らせ
- 授業の出欠
- 授業のコメント・宿題
- 個人・個別指導の日程
- 年間スケジュール

～PCまたはスマートフォンからアクセス～



